福岡市交通事業の設置等に関する条例第８条第４項の規定により、令和７年度下半期（令和７年10月１日から令和８年３月31日まで）における本市高速鉄道事業の業務状況を次のように公表する。

令和８年８月27日

福岡市長　　髙　　島　　宗 一 郎

福岡市高速鉄道事業の令和７年度下半期の業務状況
（第104回公表）

目　　次

ページ

１　概　　況……13
２　事 業 報 告 書……14
３　損 益 計 算 書……15
４　貸 借 対 照 表……15
５　企業債及び一時借入金の現在高……15

１　概況

令和７年度下半期における輸送人員は、定期の利用者が47,048,940人（１日平均258,511人）、定期外の利用者が54,879,619人（１日平均301,536人）の計101,928,559人（１日平均560,047人）で、前年度同期と比べ、5,260,693人（5.44％）の増加となっております。

増客増収の取組みとして、地下鉄を利用した周遊イベントや沿線施設と連携したイベントの実施など、沿線の魅力や地下鉄の利便性のＰＲを積極的に推進するとともに、広告の販売促進やお客様ニーズに対応した新規店舗の誘致及び既存店舗区画の事業者公募など駅空間の有効活用、収益向上に取り組みました。

また、営業線改良事業では施設や車両等の安全性を確保するため、電気室設備の更新、1000N系車両の更新及び土木構造物の改良工事等を実施するとともに、快適で質の高いサービスを提供するため、車両優先スペースの改修や全館冷房化等に取り組みました。

この結果、当期の経営状況は、約52億円の純利益を計上しました。

今後とも「福岡市地下鉄長期ビジョン」に定めた経営理念のもと、安全・安心を最優先に、経営基盤の強化と質の高いサービスの提供に努めてまいります。

2　事業報告書

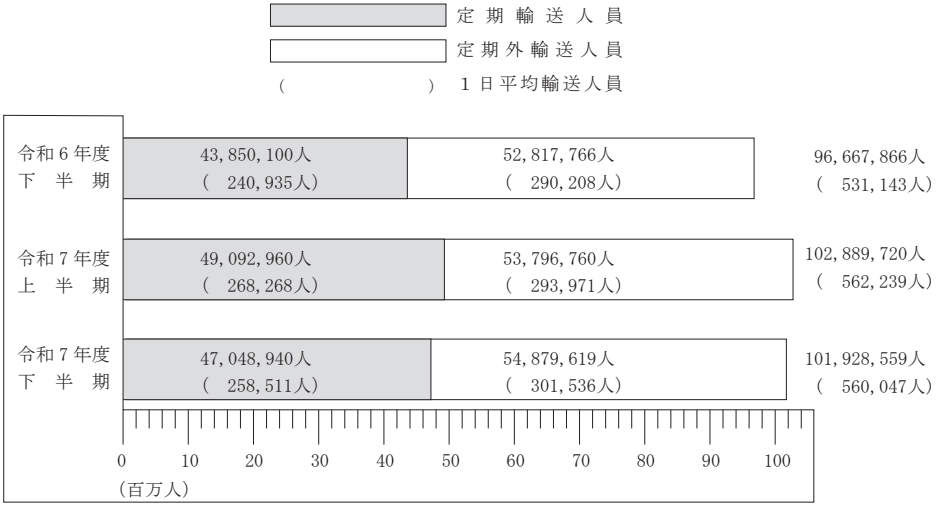
⑴　営業区間及び営業キロ

空港線（１号線）	姪　　浜	～	福岡空港	13.1キロメートル
箱崎線（２号線）	中洲川端	～	貝　　塚	4.7キロメートル
七隈線（３号線）	橋　　本	～	博　　多	13.6キロメートル
			合　　計	31.4キロメートル

⑵　在籍車両数

２３４両

⑶　輸送人員



3　損益計算書（令和７年10月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：千円）

区　　分	金　　額
総　収　益（A）	22,330,921
営　業　収　益	19,153,432
営業外収益	2,918,760
特　別　利　益	258,729
総　費　用（B）	17,086,214
営　業　費　用	16,167,888
営業外費用	918,322
特　別　損　失	4
差引損益（A）－（B）	5,244,707

4　貸借対照表（令和８年３月31日現在）

（単位：千円）

資　産　の　部		負　債　・　資　本　の　部	
科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
固定資産	346,403,757	固定負債	171,195,262
流動資産	35,672,426	流動負債	40,429,920
		繰延収益	97,199,972
		資　本　金	144,012,559
		剰　余　金	△ 70,761,530
計	382,076,183	計	382,076,183

5　企業債及び一時借入金の現在高（令和８年３月31日現在）

⑴　企業債の現在高

（単位：百万円）

令和７年度上半期末現在高	令和７年度下半期		令和７年度末現在高
	発　行　額	償　還　額	
181,378	16,234	7,633	189,979

⑵　一時借入金の現在高

なし